

佐倉市立南志津小学校 学校だより



しいの木 2月号

佐倉市立南志津小学校

☎ 489-3884

児童数 295名

令和8年1月30日発行

新しいステージで！

1月のある日、先生方の会議、2月下旬に行われる「6年生を送る会」についての話し合いをしていた時のことです。送る会当日は、送る会終了後、仕切りなおす形で最後の縦割り活動を実施することに。話し合いの中で、「ただ、時間がない・・」となったので、「縦割り活動は、やらなくても・・」と切り出したところ、「校長先生、なにを言っているんですか！」の雰囲気・・・。聞けば、6年生を送る会の後の縦割り活動から5年生が全体を取り仕切ることになっており、5年生はそれを今から楽しみにしているとのこと。「最後の縦割り活動をなくすなどあり得ません！」との話。改めて先生方から伝わってくる5年生のモチベーションの高さに感心した瞬間でした。

その数日後、5年生の自習監督に入った時も、すべての指示を学級のリーダーが出し、全員が見事にその指示に従って行動している姿を見て、そのモチベーションの高さは本物だと改めて実感することができました。

6年生はというと、いつ授業を見ても道具が出ていない、ノートをとっていない、学習に参加していないなどという子は一人もいません。たまたま見た帰りの会では、各委員会からの呼びかけに全員が耳を傾け、明日からの動きについて理解を示していました。いずれも、卒業に向けて、新たに始まる中学校生活に向けて自覚が深まっているのだと納得させられる瞬間でした。

他学年もしかり。1月21日に行われた昔遊び、グループごとに時間通りに周り、お世話をした地域の方々にきちんとあいさつができた1年生。廊下を歩いていると決まって元気よくあいさつをしてくれる2年生。業間、昼休みになると寒さをもろともせずみんなで外に出て全力で遊ぶ3年生。すっかり落ち着いた学校生活を送れるようになり、理科の授業では4人のグループごとにパワーポイントを使ってのプレゼンテーションを行えるまでに成長した4年生。どの学年を見ても、この1年間の成長と新しくステップアップする新学年への意気込みをひしひしと感じます。

進学や進級は“新緑の春”という季節感も相まって、子ども達の気持ちを高揚させ、新たなステージへと押し上げてくれます。今年度も残すところ2か月足らず。学習面のまとめ、復習を確実に行うのはもちろんのこと、6年生を送る会や卒業式に向けての取り組みを通して、人として、また学年として確実な成長を遂げ、実のあるステップアップができるよう後押ししていきます。保護者の皆様、地域の皆様にも、頑張る子ども達を応援していただければ幸いです。

